

いのちを守る森の防潮堤とは

主催 浜松東ロータリークラブ
浜松南ロータリークラブ
後援 浜松商工会議所
NPO 法人縄文案校
浜松市教育委員会（申請中）

およそ日本人は、室町時代より木造建築に使用する為、マツやスギを人工的に植林したと言われております。浜松市沿岸域にもクロマツが植えられて「白砂青松」の景観となっております。しかし、現存の海岸防風林はマツクイ虫や相次ぐ台風被害で海岸林のマツは無残な状態となっております。

東日本震災以降、宮脇先生は被災地で踏査し土地本来の潜在自然植生である、タブノキ、スダジシラカシなどの深根性、直根性を混植密植する事によって津波からの減災効果、森の万里の長城作りを提案されております。折しも浜松市の沿岸域では、長さ 17.5 km にわたって保安林帯に土盛りが計画されております。（第 4 次被害想定）

今回の講演を通じて、皆さんとともに考察したいと思い公開例会といたしました。この機会に多数ご聴講くださいますようお願い申し上げます。

1. 日 時 平成25年 2月28日（木）
13:00 ~ 14:30 **聴講無料**
2. 会 場 グランドホテル浜松 鳳中の間 12:30~受付開始
3. テー マ 「いのちを守る森の防潮堤とは」
4. 講 師 (公財)地球環境戦略研究機関 国際生態学センター長
横浜国立大学名誉教授 **宮脇 昭 氏**
5. 定 員 200名
6. 申込方法 FAX: 053-439-5847



経 歴
1928年 生まれ
1952年 広島文理科大学生物学科卒業
1961年 理学博士号取得
1990年 1990年度朝日賞受賞
1993年 横浜国立大学名誉教授
同 10月 (財)国際生態学センター所長
就任
1995年 ドイツ・チュクセン賞受賞
1997年 国際植生学会、世界初の名誉
会員に
2000年 勲二等瑞宝賞受賞

メール info@joumon.main.jp
2月21日（木）までにお申込みください
申 込 先 NPO 法人 縄文案校

〒433-8102 静岡県浜松市北区大原町 188-4

申し込み用紙

個人または団体名	TEL
住所または所在地	
聴 講 者 氏 名	